

技法セミナー

■ 墨色にふれる～墨と和紙の出会いから

「文人の夢 田能村竹田」展関連企画

日 時＝平成17年11月3日(木・祝) 14:00－15:30

講 師＝小松謙一氏（日本画家）

場 所＝当館実技室

参加者数＝43名

「文人の夢・田能村竹田の世界」展開催にあわせ、伝統的な水墨画の世界を技法面から解き明かす講座を開催した。

水墨画というとひと筆で一気に描くものと思われがちだが、実は何層にも墨の色を重ねて描かれている場合が多くみられる。薄い墨を重ねて色を作りだしたり、墨と紙と水のまさにコラボレーションによって水墨の色や空間を作りだしている例が少なくない。田能村竹田も例外ではない。

そこで、今回の技法セミナーでは、紙の上で墨がにじんていく様子や、墨や紙の種類によってにじみ方、色の広がり方が違うことを、講師が実際の筆と墨を使って実演した。参加者は、墨、紙、筆の違いによって生じる水墨の奥深い世界を実見することにより、田能村竹田の作品鑑賞をより深める機会とした。